

35 回生の皆さんへ

4 月 27 日（月）

こんにちは、臨時休校が始まり6日目になりますが、元気
にしていますか。

今日は、皆さんが友愛広場（中庭）を通るときに必ず目に
する「被爆クスノキ」を紹介します。

長崎市坂本町の山王神社の境内入口に根をおろしている
大きなクスノキ。1945年8月9日11時2分、長崎市に人類初のプルトニウム型原子爆
弾が投下されました。爆心地から南東へ約800mのところにあったこのクスノキは、上空
で炸裂した原子爆弾により、幹に亀裂が入り、枝葉も吹き飛ばされ、熱線で焼かれ、一時は
枯死寸前となりました。しかし、次第に樹勢を盛り返し復活を遂げ、現在では長崎市の天然
記念物に指定され、「被爆クスノキ」と呼ばれています。長崎市出身のアーティスト福山雅
治さんの楽曲「クスノキ」のモデルにもなっています。



2015年8月9日、西陵高校では平和学習の一環で、こ
の被爆クスノキの種から育てられた苗が生徒の手で植えら
れました。「被爆クスノキ」の2世というわけです。西陵高
校の「被爆クスノキ」は順調に育ち、毎日、西陵生を見つめ
ています。朝、登校してきたとき、体育の授業に走ってい
くとき、昼、友愛広場でお弁当を食べるとき、放課後、部活動
へ走っていくとき、学校での1日を終えてほっとしながら帰宅するとき、西陵生を見つめ
ています。今は、はやくコロナ禍が収まり、君たちが学校に戻ってくるのを待っています。

